

神奈川県立厚木西高等学校

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事概要

日時 令和7年11月27日（木）

15:45～17:00

場所 厚木西高等学校会議室

1. 開会

●会長挨拶

- こんにちは、秋も深まり紅葉が綺麗な時期ですね。学校の前をよく通るのですが、今日は特にイチョウが綺麗でした。
- すでに部会が行われているため、各部会での理解が進んでいると思います。会議の中では委員から色々と話をいただければと思います。

●校長挨拶

- 教頭、事務長の不在について。
- 学校の動きについて。

9月—西翔祭文化の部。9月5日（金）校内発表、9月6日（土）一般公開の日程で開催。1574名の方に来校していただいた。

地域の方や中学生保護者に魅力が伝わったと思う。

10月—県高P連県央地区大会参加（10/22）綾瀬市オーエンス文化会館
交通安全委員会が参加し発表を行った。高い評価をいただいた。

11月—インクルーシブ教育実践推進校説明会（中学1・2年生対象）を行った。

1回目（11/6）・2回目（11/13）

特別募集生徒保護者対象進路説明会実施（11/15）

進学や就職についてと、障害者年金についての説明を受けた。

- 地域活動への参加について。

8月—森の里夏まつり（8/16）合唱部が参加。

9月—ふくろうの森コンサート（9/20）吹奏楽部参加。

11月—森の里公民館まつり（11/8・11/9）天文部参加。

厚木市長に月齢版の見方をレクチャー。

12月—森の里クリスマスマつり（12/20）吹奏楽部、軽音楽部参加予定。

●本日の資料の確認

2. 報告・協議事項

・地域連携部会より

副校長—森の里での行事の活動状況報告

ボランティアの活動状況の報告、

本校生徒はあまり積極的ではない。どのように参加を促すかについての話が中心。

小・中の取り組みを見習いながら、高校生としての地域への貢献を模索しつつ、地域への活動への参加を進め、地域の方々とのつながりを深めていきたい。

- ・インクルーシブ教育推進部会より

中瀬教諭－今年度の活動報告

中学生対象の説明会について。中学3年生対象説明会（3回）と中学1・2年生対象の説明会（2回）行った。

1・2年生対象のインターンシップと、在校生の職業体験の説明会を実施した。

様々な活動を行っているが、保護者の参加が乏しい。どのように参加してもらうかが課題である。生徒の就職に関して早い段階から伝えて意識させていきたい。

小・中の生徒だけでなく、各先生に対しても説明会を行い、情報共有していくと考えている。

- ・厚木西高等学校の学校運営について。

学校評価報告書中間評価（各グループより説明）

【学習支援G】

- 教育課程については、39期生で旧課程が終了し、40期から新課程で三年間通すことができる、それにより問題がわかるところがある。大幅な変更には時間がかかるので、変更については継続的に行っていく。

- 理系生徒の授業選択の変更を行えるようにしていく。理科6単位が現在の方式だが、生徒・教員からはそこまでの専門性の必要はないとの意見があったので変更を行った。

- 授業互見は年2回実施。教員の参加率が良くなかったので、課題意識の共有、授業改善の必要性を掲示板等を通して毎朝全体に呼びかけた。提出方法についてはアナログとデジタルに変更。現在参加率が60%になった。

生徒側の評価については、92.2%の生徒から良い評価をもらえた（目標80%）

【生徒支援・活動支援 G】

- 生徒支援での専門機関との関わりが多くなった。専門職員等とのやり取りも多くなつた。今後も機関とのつながりを続けていきたい。

- 2学期に関しては、地域の方から自転車の乗り方への意見が多かった。減らしていくように生徒への説明を継続的に行っていく。

- 西翔祭・文化の部実施した。（9月）生徒・教員から様々な意見がでたので、今後の活動に生かしていきたい。

- 今年度の生徒相談内容としては、友人関係・人間関係の相談が一番多い。コロナ後に多くなった印象がある。

- SCへの相談内容も、健康・保健関係についての相談も多く、夜寝られない等の相談がいくつもあった。

- SC・SSW不在時は保健室が中心となって話を聞いている。その中で警察や児相に連絡しないといけないものも出てきている。過量服薬ODの課題も出てきている。横浜の関係機関に相談し、今後つなげる生徒もいる。

- 現在1学年の男子生徒一名について定期的にケース会議を開いている。その他にも今年度は10人ほどケース会議をしている。試験の別室も含めると20人程になる。

- 児相関係は、夏休みに比べると今は落ち着いている。

【キャリア支援G】

- 今年度は1年全員がメイテックさんから職業についての話を聞いていたところで、今年度は出向いて実際に話を聞いた。社員さんからの経験談など具体的な話を伺った。
- 夏休みに3年生が保育園や病院に職場体験で伺った。
- 各学年で実力診断テストを行い、将来につなげられる活動を行った。

【地域・共生G】

- 8・10月に2回学校説明会を行った。アンケートでは9割方肯定的であったので、このままさらに良いものに改善していく。
- 2回目の学校説明会の日に、厚木や伊勢原の中学校の合唱祭と重なってしまった。来年度以降開催日程には気をつけていく。
- HPの更新が遅れてしまうこともあったため、今後随時更新を行っていく。

【管理運営G】

- 清掃委員による巡回検査を行い、校内美化を進める。今年度はまだ未実施。今後行う予定。
- エコポスターを学校内に掲示している。生徒への協力を呼びかけている。
- 紙の使用量は、授業形態の変化に伴いプリントでの紙の使用が増えている。紙の裏の使用など工夫して抑えてきたい。
- 防災訓練では、訓練の前に防災学習を行い、消化器の使い方の確認も行った。生徒達の参加の際の意識改善を目指した。アンケートで生徒からの意見も集めた。生徒も真剣に取り組めた。起震車で地震の体験も行いとても良い経験になった。（10名程参加した）

3. 意見交換

（委員）教育課程・ICT活用について

県から電子黒板の使用について連絡が来ているようだが、人によって差が出ると思うが、教員への指導はどのように行っているのか。

→科目や人によって変わってくるので押し付けるようにはしない。利用できればとても良いものなので、全体への呼びかけは導入時に行った。

（委員）先生方は急に渡されているものだが、生徒は慣れているものである。そのギャップをどのように埋めていくのか。黒板のみ使用・電子黒板のみ使用の先生でのアンケートをとり、その結果の違いを見てみたらどうか。

→教員によっては邪魔だとずらす人もいる。黒板の一部として利用できる等の説明をしハーダルを下げる努力はしている。黒板違いでのアンケートの差の確認はとてもいいアイデアなので参考させていただく。

（委員）生徒指導について

友人関係・人間関係の問題内容は例年と同じものなのか？

→昨年度に比べて件数は倍になっている。資料は今現在（11/27）の集計結果なので先を考えると3倍になるのではないかと思われる。内容の傾向は昨年度とあまり変わっていない。

- (委員) 警察・児相の相談は例年より増えているのか
→昨年はどちらも1件ほどだったが、今年度は2件と4件、未通告が2件ととても増えている。相談するべきかを確認しながら進めている。
- (委員) 試験の別室指導の配慮内容はどの様は事項があるか。
→聴覚過敏への対応や特別指導中の対応がある。
- (委員) 発達障害・精神障害の生徒への対応はどのように行っているか。
→今年度は、発達課題4件。医療に繋いだものがベースになっている。SCからの心療内科への診断を進めたものもある。そこで知能検査をした生徒もいる。
医療に繋いだ生徒は一般生枠で入ってきていたため、今までにはなかったつながりを学校からつなぎ、様子を見るという形を取っている。
- (委員) 主体的な学びへの評価が7割を超えたと、記載とアンケート結果の9割超えについて、表記違いでは
→目標のところに7割とあり、その目標を達成できていたためそのように記載させていただいた。
- (委員) この結果は、素晴らしいものだと思う。ベテランの先生方がICTを使わないというのもありだと思う。電子黒板はあくまでも道具。ただ、全体の意見がすぐに反映できるのであるものとして使うことができれば、すでに培われている授業の良さが更に伸びるのではないか。
→この学校は、一般受験をする生徒が少ない。推薦入試を目指している子が多いのでゆっくりと授業を進めやすい。連携生がいるため詰め込み型の授業展開が難しい。それによって評価が変化しているかもしれない。ご指摘に関しては、生徒にとってより主体的な学習になっているかを精査し、今後も進めていきたい。
- (委員) 生徒のインターンシップは学校紹介・生徒自身が見つけるのか
→どちらもある。県から降りてくるものもあるが、学校からでは愛川高校が周辺の学校への紹介をしてくれているため、そこから受けるものもあるが、生徒自身が自分で申し込むものもある。
- (委員) インターンシップ先の年度ごとの変更はある?
→コンビニ等は毎年ある。自動車関係などは生徒が望む場合年によってはある。
- (委員) 教育課程の変更で生徒の声があったとあったが、どのように意見を募ったか。
→授業内の様子や、担当教員や生徒からの普段の声を参考にした結果。県への報告の際に生徒の意見も乗るのでそこで判断している。
- (委員) 評議会に生徒を入れてみては?中学校ではやっている。生徒が当事者なのだから。
- (委員) 以前、声を上げられない生徒への対応をどう工夫していくかの話をしたが、今後も一緒に考えていきたい。
→生徒へのアンケートで、親や周りに相談しやすいしにくいなどの調査を行っている。
それでも漏れる生徒はいる。アンケート内容に適当に答えたり、面談で適当に答えてしまう子もいるので追いかけていない子もいる。最後は人の目で確認する。

4. その他

第3回学校運営協議会 令和8年 3月12日(木)午後予定
詳細は後日ご連絡いたします。

5. 閉会

●校長

様々な意見感謝します。このような場で出た意見などを踏まえ、職員会議等を通して学校運営を進めてまいります。

本日はありがとうございました。

出席委員（敬称略）

鈴木 正一	神奈川工科大学 学生支援本部 学生サポート室 研究主幹
松田 拓也	厚木市立森の里中学校 校長
伊積 秀人	厚木市立森の里小学校 校長
笠原 絵里	厚木西高等学校 PTA会長
大木 俊雄	日産自動車 R&D 総務・ファシリティマネジメント部 主担
大関 進也	神奈川県央地域若者サポートステーション 相談員
大塚 敏男	株式会社 アマダプランテック 統括リーダー
原田 充治	森の里自治会連絡協議会 会長
永嶋 信一	森の里地区地域福祉委員会 委員長
林 信仁	厚木西高等学校 校長